

I.令和3年度事業報告について

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

1. 果実対策

(1) 果樹経営支援対策（国庫）

① 果樹経営支援対策事業

果樹経営支援対策事業は県内地域（26地域）毎に樹立した果樹産地構造改革計画の実践を支援し、競争力の強い産地を実現することを目的とした優良品目や品種への転換、小規模園地整備、農地中間管理事業を活用した園地集積などの「整備事業」や大苗木苗圃の設置等の「推進事業」を前向きに取り組む産地や担い手を支援する事業であり、令和2年度補助金交付実績および令和3年度計画（承認済）は下記のとおりとなった。

【令和2年度補助金交付実績（補助金ベース）】

（単位：㎡、円）

内 容	対象面積	交付金額	備考
改植	326,235	66,039,703	高接含む
新植	64,753	10,892,065	
その他整備事業	171,793	20,546,343	
計	562,781	97,478,111	

【令和3年度計画承認実績（補助金ベース）】

（単位：㎡、円）

内 容	対象面積	交付金額	備考
改植	310,084	62,881,646	
新植	142,314	26,235,690	
その他整備事業	214,648	42,431,685	
推進事業		1,567,309	
計	667,046	133,116,330	

② 果樹未収益期間支援事業

果樹経営支援対策事業により、優良品目・品種への改植を実施した後、経済的に価値のある水準の収量が得られるまでの期間に要する経費の一部を担い手に支援し、競争力の高い果樹産地の育成を強化することを目的とした国庫事業（5.5万円／10a×改植の翌年から4年分）であり、令和2年度補助金交付実績および令和3年度計画（承認済）は下記のとおりとなった。

【令和2年度補助金交付実績（補助金ベース）】 (単位：㎡、円)

内 容	対象面積	交付金額	備考
改植及び新植	390,488	85,816,720	

【令和3年度計画承認実績（補助金ベース）】 (単位：㎡、円)

内 容	対象面積	交付金額	備考
改植及び新植	450,077	98,794,840	

(2) かんきつ特別事業（県単）

① 福岡かんきつ高品質化・軽作業化支援事業

かんきつ産地の競争力強化と農家の経営安定を図るため、優良品種への転換を推進しており、かんきつ生産農家を実施する改植に伴う減収から、改植前の収量に少しでも早く近づけるための早期樹冠拡大に向けた取組や高品質果実の安定生産並びに作業労力軽減等に資する取組み支援を下記の通り実施した。

- ・事業主体：県内かんきつ関係JA、同JAを構成員とする産地協議会
- ・実施期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日（1ヵ年事業）

【令和3年度事業実績】 (単位：㎡、円)

産地協議会	面積	補助金	備考
宗像	11,650	1,722,608	
粕屋	3,344	509,395	
糸島	5,500	370,088	
八女	44,400	4,995,000	
南筑後	16,020	1,617,480	
合 計	80,914	9,214,571	

② 新規事業の取組み

県及び中央果実協会の承認を得て会員が当該事業を実施する場合、その助成金として交付準備金運用益の積立金を取り崩すものであるが、上記事業以外に新たな事業は実施しなかった。

(3) 全国果樹技術・経営コンクールへの参加

低コスト化・省力化・品質向上・新品種の導入といった技術面や労働力の確保・経営規模の拡大・販売戦略の構築といった、経営改善の面から先進的で他の模範となる農業者及び集団組織を表彰するとともに、その成果を広く紹介し果樹農業の発展に資することを目的に、公益財団法人中央果実協会が毎年開催している全国コンクールである。

本県においては、県関係機関やJAグループと協調して推進を行ったが、本年は各地域からの推薦がなかったことからコンクールへの参加を見送った。

2. 野菜対策

(1) 価格安定対策事業

コロナ禍の影響による業務需要の冷え込みにより、令和2年度の冬場の低価格を引きずったまま令和3年度がスタートした。8月の豪雨、9月以降の干ばつの影響により本県産秋冬野菜の出荷は出遅れたものの、全国的には潤沢な出回りとなり葉茎菜類を中心に価格は低迷し、非結球レタスでは出荷開始早々に市場隔離を実施することとなった。

年明け以降は寒波の影響により出荷が伸び悩み市況は回復した。

令和3年度における県単および国庫の価格安定対策事業については、総額95,839,626円の交付を行った。

① 野菜生産出荷安定事業（県単）

ア. 第19期事業

事業期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日の3年間
対象野菜	24品目
補てん予約数量	15,978トン
資金造成計画	553,717,400円

イ. 交付金の交付と資金造成残額

(単位:円)

区 分	金 額	備 考
資金造成残額(a)	366,703,446	令和3年3月末
令和2年度分 交付金交付額(b)	17,318,120	交付対象期間 令和3年1月1日～令和3年3月31日 (24品目のうち11品目交付) かぶ、ほうれんそう、ブロッコリー、 葉ねぎ、青ねぎ、こまつな、チンゲン サイ、トマト、菜の花、えのき茸、本 しめじ
令和3年度分 交付金交付額(c)	31,185,423	交付対象期間 令和3年4月1日～令和3年12月31日 (24品目のうち16品目交付) キャベツ、レタス、ほうれんそう、ブ ロッコリー、青ねぎ、こまつな、チン ゲンサイ、なす、きゅうり、オクラ、 菜の花、いんげん、赤しそ、えのき茸、 本しめじ、すいか
令和3年度交付額(b+c)	48,503,543	
資金造成残額(a-b-c)	318,199,903	令和4年3月末

② 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業(国庫)

事業実施に当たっては業務対象年間を令和3年度(4月1日)から3年間として承認を得て、令和3年度に特定事業・指定事業合計で47,336,083円を交付した。

なお、国の指導により事業を1年間に短縮し、次期業務対象年間を令和4年度(4月1日)から3年間として次期事業の推進を行った。

ア. 特定野菜供給産地育成価格差補給事業

この事業は、しゅんぎく、青みつば、にら、みずな、いちご、ブロッコリー、アスパラガス、すいか(令和2年度は対象外)の8品目を対象に実施し、

39,827,925円を交付した(令和2年度事業分 18,845,763円を含む)。

【令和3年度事業の造成額と交付額】

(単位:円)

区 分	金 額	備 考
令和2年度分 補給金交付額	18,845,763	令和2年度事業分 (7品目のうち5品目交付) しゅんぎく、青みつば、にら、みずな、 ブロッコリー
資金造成額(a)	483,067,290	令和3年度事業
令和3年度分 補給金交付額(b)	20,982,162	令和3年度事業分 (8品目のうち7品目交付) しゅんぎく、青みつば、にら、みずな、 ブロッコリー、アスパラガス、すいか
資金造成残額(a-b)	462,085,128	令和4年3月末

イ. 指定野菜供給産地育成価格差補給事業

この事業は、夏秋トマト、冬春トマト、秋冬だいこんの3種別を対象に実施し、7,508,158円を交付した（令和2年度事業分6,856,155円を含む）。

【令和3年度事業の造成額と交付額】

(単位：円)

区 分	金 額	備 考
令和2年度分 補給金交付額	6,856,155	令和2年度事業分 (3種別のうち2種別交付) 冬春トマト、秋冬だいこん
資金造成額(a)	29,316,240	令和3年度事業
令和3年度分 補給金交付額(b)	652,003	令和3年度事業分 (3種別のうち1種別交付) 冬春トマト
資金造成残額(a-b)	28,664,237	令和4年3月末

(2) 野菜特別事業(県単)

① 新規事業の取組み

県の承認を得て会員が当該事業を実施する場合、その助成金として保有資産の一部を取り崩すものであるが、新たな事業は実施しなかった。

3. 施設園芸対策

燃油価格の高騰の影響を受けにくい経営構造への転換を進めるため、資金管理主体として県の指導・支援のもとで、「燃油価格高騰対策事業」への取組みを実施した。

(1) 施設園芸セーフティネット構築事業(国庫)

施設園芸用の燃油価格が一定基準以上に上昇した場合に補てん金を交付する事業で、必要な資金を造成し、燃油価格の高騰により基準価格を上回ったため123,738,956円の補填金の交付した（令和2事業年度分4,350,292円を含む）。

- ・事業対象期間 : 令和3年10月～令和4年6月
- ・造成必要額 : 928,559千円(令和3事業年度)
(日本施設園芸協会1/2、生産者1/2)
- ・支援対象組織(生産者人数) : 19(2,202名)
- ・補てん金交付額 : 4,350,292円(令和3年1～6月分)
119,388,664円(令和3年10～12月分)